

令和7年度 学校評価報告書 【大洲市立肱東中学校】

教育目標『自ら学び、心豊かに、未来をしなやかに生き抜く生徒を育てる』	
経営の重点	○確かな学力の定着 ○認め合い、支え合う人間関係づくり ○地域に開かれた魅力のある学校づくり
	○ICTの有効な利活用 ○生徒会活動の充実 ○体験活動の推進

[評定 A：順調 B：概ね順調 C：あまり順調でない D：順調でない]

区分	具体的事項	取組・評価結果	○成果 ●改善	評価委員の意見	評定
教育課程・学習指導	分かりやすい授業	○基礎的・基本的な知識・技能の定着と表現力の育成を重点課題として、分かりやすい授業の改善に努めた。 ○家庭学習の指導の工夫を図り、予習・復習の意欲向上を目指した。 ○ＩＣＴや小テストを積極的に活用し、知識・技能の定着に努めた。 教職員の肯定的評価（ 97 ） % 生 徒の肯定的評価（ 81 ） % 保護者の肯定的評価（ 64 ） %	○ＩＣＴの活用と授業改善により、授業への理解が高まった。 ○朝学習テストにより、基礎学力の向上と家庭学習への意欲化を図ることができた。 ●宿題以外の家庭学習の充実をさらに進める。	・タブレットの活用についての肯定率が三者とも上がってきており今後に期待が持てる。 ・個に応じた指導についてどのような工夫かはっきり見えない。	B
	思考力・判断力・表現力の育成				
	家庭学習の習慣化				
	個に応じた指導				
	ＩＣＴの活用				
生徒指導	登校することが楽しい学校づくり	○生活調査や普段の観察等を基に、不登校やいじめ問題への早期発見・早期対応に努めた。 ○教育相談を充実させて人間関係を深めるとともに、学習・生活相談を通して、一人一人の生徒理解に努めた。 ○子どもたちに将来の夢を持たせる進路指導に努めた。 教職員の肯定的評価（ 92 ） % 生 徒の肯定的評価（ 79 ） % 保護者の肯定的評価（ 89 ） %	○生徒の悩みに寄り添いながら、生徒・保護者との信頼関係を築くことができた。 ○スクールカウンセラーとの集団面談を実施し、相談しやすい関係づくりを行った。 ●入試制度が大きく変わり、進路指導のさらなる充実が必要。	・「将来への夢」について、生徒・保護者・教員の評価の開きが気になる。 ・不登校生徒への対応について、どのように寄り添っているのか気になる。	A
	信頼関係づくり				
	自己肯定感の育成				
	将来の夢につながる学校生活				
健康・安全管理	安心・安全な環境づくり	○安全点検や日々の観察により、不備への早急な対応に努めた。 ○大洲警察署や地域と連携した交通安全教室を実施した。 ○今年度から配置の栄養教諭による充実した食育指導を行った。 教職員の肯定的評価（ 75 ） % 生 徒の肯定的評価（ 83 ） % 保護者の肯定的評価（ 79 ） %	○ＰＴＡや関係機関と連携し、生徒の健全育成を図ることができた。 ●スマートフォンの安全利用の指導を継続する。 ●早寝早起き朝ごはんなどの良い生活習慣についての指導を継続して行う。	・スマートフォンの安全利用については、保護者を含めた指導とその継続が必要であると考える。 ・学校内だけの指導には限界があり難しいと感じる。	B
	ルールを守った学校生活				
	心と体の健康づくり				
	交通マナーを守った登下校				
保護者・地域との連携	情報発信	○教育活動の実施や活動の様子について、各種通信やホームページを併用しながら、お知らせした。 ○総合的な学習の時間を活用しながら、地域理解に努めた。 教職員の肯定的評価（ 94 ） % 生 徒の肯定的評価（ 83 ） % 保護者の肯定的評価（ 89 ） %	○ホームページ等を通して、教育活動の情報を発信することができた。 ●地域との連絡・調整を行い、行事への積極的な参加を支援する。 ●体験活動を充実させ、地域貢献について考える時間を工夫する。	・ホームページの更新が頻繁であり、学校の様子がよく分かる。 ・今後も地域貢献について考える時間を大切にしていきたい。	A
	開かれた学校づくり				
	相互理解				
	公共心の育成				
その他	キャリア教育の充実	○生徒主体の学校行事を支えるための支援に努めた。 ○専門委員会の活動を充実させ、達成感を味わえる活動を実施した。 教職員の肯定的評価（ 98 ） % 生 徒の肯定的評価（ 90 ） % 保護者の肯定的評価（ 92 ） %	○生徒主体の学校行事により、豊かな人間関係と伝統を引き継ぐ基盤を築くことができた。 ●キャリアパスポート等を活用しながらキャリア教育の充実を図る。	・地域行事に積極的に参加している生徒が多く、伝統を引き継いでくれていると実感している。	A
	行事への取組				
	部活動等への取組				
	生徒会活動への取組				
総括	生徒、保護者との信頼関係が構築されており、生徒は、充実した学校生活を送ることができている。一方、生徒の良い生活習慣が身に付いていないと感じる保護者が多くいることから、情報モラルやより良い生活習慣について課題が浮き彫りとなった。今後は、学習指導の充実を図るとともに、地域との連携を図りながら、生徒の主体的な活動の場を設定していきたい。				